



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ 上場取引所 東
 コード番号 2180 URL http://www.ssu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 (氏名) 相田 俊充 TEL 03-6894-3233
 本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関・個人投資家向け

百万円未満切捨て

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績（平成27年7月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	6,690	△0.2	378	-	376	897.2	261	-
27年6月期第2四半期	6,707	1.0	△60	-	37	△61.9	△42	-

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 266百万円 (-%) 27年6月期第2四半期 △67百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	72.96	71.75
27年6月期第2四半期	△12.09	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第2四半期	5,575	1,716	28.4
27年6月期	5,291	1,423	25.1

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 1,581百万円 27年6月期 1,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	-	0.00	-	10.00	10.00
28年6月期	-	5.00	-	-	-
28年6月期（予想）	-	-	-	25.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想（平成27年7月1日～平成28年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,085	1.2	200	-	226	169.9	111	-	31.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年6月期2Q	3,611,200株	27年6月期	3,611,200株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年6月期2Q	32,124株	27年6月期	32,074株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年6月期2Q	3,579,117株	27年6月期2Q	3,537,196株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、対前年同期で増益を達成いたしました。

前期第2四半期連結累計期間において過去最高の業績を達成した、弊社の基幹事業であるマーケティング・コミュニケーション事業においては、今期もその勢いを継続しており、期首予算を達成するに至っております。また、前連結会計年度に損失を計上していたSP・MD事業は、飲料メーカーのプレゼントキャンペーンなどの大型案件を獲得したことで、急激な業績回復を成し遂げることに成功しました。

尚、当第2四半期連結累計期間においては、中長期的な成長に向けて様々な取り組みを開始しております。事業面においては、アドテクノロジー・マーケティング企業Momentum株式会社との戦略的業務を提携し、マーケティング・コミュニケーション事業のさらなるサービス拡充を図っております。また、グローバルに事業を展開するレストランbillsにおいては、韓国第2号店を本年2月に、また、西日本エリア初出店となる福岡店を本年7月に開業することを発表するなど、順調な事業成長を推し進めております。一方、人財戦略の一環として、社内のダイバーシティ・インクルージョンの育成等を行う「SSU DIVERSITY LAB」の活動をグローバルに展開しており、昨年10月には、米国を代表するLGBTマーケティング・エージェンシーであるTarget10社（本社：ニューヨーク）と連携協定を締結しました。そして、昨年12月、当社は東京都から「東京都スポーツ推進企業」の1社として、社員のスポーツ活動を推進する取り組みや、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業として認定を受けました。当社は引き続き、中長期計画のマイルストーンである2020年に向けてスポーツに関連する多彩な市場機会を創造するとともに、「スポーツ都市東京」の実現を推進してまいります。

以上のような活動を踏まえ、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高6,690百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益378百万円（前年同期 営業損失60百万円）、経常利益376百万円（前年同期 経常利益37百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益261百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失42百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①マーケティング・コミュニケーション事業

PR、プロモーション、デジタル、広告制作、キャスティング等、得意先企業へ総合的なマーケティング・コミュニケーション支援を行う、当社グループの中核である本事業は引き続き順調に推移しております。前年同期に受注していた一部案件の計画中止により増収には至っておりませんが、成長するPR市場の追い風と人員強化を背景に、菓子・飲料・製薬・ラグジュアリーブランド等の外資系クライアントやレギュラークライアントである大手CVSからの継続的受注、及び、複数の大型キャンペーンの受注に成功した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,967百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

②SP・MD事業

購買接点における優位性の発揮を主眼に置いたマーケティング・ソリューションを提供するSP・MD事業では、短期間で集中した体質変革に挑んできた結果、前期からの努力が実を結び、収益力の改善を実現しております。具体的には、複数の飲料メーカーの大型プレゼントキャンペーンの受注や大型量販店チェーンにおけるオリジナル企画商品の販売が売上に大きく寄与した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,669百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

③スポーツ事業

日本におけるスポーツビジネス発展の一翼を担ってきた当社のスポーツ事業は、従来の肖像権ビジネスだけに依存しない、スポーツがもつ更なる可能性を引き出すためのビジネスモデル変革に取り組んでおり、今後も世界の注目を集めるスポーツシーンで事業を展開してまいります。現在は、オリンピック・パラリンピックに関連する案件の受注活動も着実に推移しておりますが、2020年を見すえた中長期プロジェクトへも積極的にリソースを投下しております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は423百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

④bills事業

当社グループは現在、世界の朝食としての高いブランドロイヤリティを提供し、圧倒的といえる人気を獲得しているカジュアルオールデイダイニング「bills」の国内4店舗、海外2店舗の経営に携わっております。引き続き安定的な成長を目指すべく、韓国2号店を本年2月に、さらには、西日本初出店となる福岡店を本年7月に開業することを発表しており開業準備に取り掛かっております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,552百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

⑤開発事業

当社グループの中長期的な成長を推進すべく当社独自の事業創造に注力する開発事業では、レストラン「bills」、続いて、著名人のキャスティングを軸としたマーケティング支援やコンテンツビジネスを展開するクムナムエンターテインメント社などの主要な事業を生み出しており、その第三弾として、2014年に立ち上げた新規事業「OMOTENASHI NIPPON」に蓄積した経営資源を独立させたスピンオフベンチャー、ENGAWA株式会社を昨年12月に設立致しました。ENGAWA社は既に事業計画に共鳴した複数社を引受先とする第三社割当増資を実施しており、様々な企業と連携を取りながら、2020年に向けたジャパン・ブランドの大きな盛り上がりのプラットフォームとなるべく、多彩なビジネスを仕掛けてまいります。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は78百万円（前年同期 売上高17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、5,575百万円（前連結会計年度末より283百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が3,862百万円（同369百万円増）、固定資産が1,712百万円（同86百万円減）であります。また、負債合計は、3,858百万円（同10百万円減）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が2,544百万円（同117百万円減）、固定負債が1,313百万円（同106百万円増）であります。純資産合計は、1,716百万円（同293百万円増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、1,701百万円（前連結会計年度末より799百万円増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は498百万円（前年同期は119百万円の支出）となりました。主な要因としましては、売上債権の減少額166百万円、仕入債務の減少額314百万円、前受金の減少額85百万円、前渡金の減少額168百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により支出した資金は18百万円（前年同期は68百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出33百万円、貸付金の回収による収入30百万円が主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により獲得した資金は320百万円（前年同期は529百万円の獲得）となりました。これは、短期借入金の純増額145百万円、長期借入による収入330百万円、長期借入金の返済による支出165百万円、配当金の支払額35百万円、非支配株主からの払込みによる収入52百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては現時点において、平成27年8月18日に発表しました平成27年6月期決算短信に記載しております平成28年6月期の連結業績予想（平成27年7月1日～平成28年6月30日）を平成28年2月10日に変更しております。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において、株式を取得したBulbous Cell Media Group株式会社、及び新設分割により設立したENGAWA株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	910,437	1,709,709
受取手形及び売掛金	1,784,881	1,628,121
商品及び製品	2,294	1,879
未成業務支出金	303,374	237,277
原材料及び貯蔵品	23,933	29,856
その他	474,001	261,034
貸倒引当金	△5,863	△4,906
流動資産合計	3,493,059	3,862,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	724,422	664,943
土地	520,818	520,818
その他(純額)	144,945	149,487
有形固定資産合計	1,390,186	1,335,249
無形固定資産		
のれん	-	12,608
その他	3,650	2,480
無形固定資産合計	3,650	15,089
投資その他の資産		
その他	460,528	424,305
貸倒引当金	△55,690	△62,613
投資その他の資産合計	404,838	361,691
固定資産合計	1,798,675	1,712,030
資産合計	5,291,734	5,575,002
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,149,045	826,089
短期借入金	708,320	857,285
1年内返済予定の長期借入金	245,619	277,544
未払法人税等	76,633	125,672
デリバティブ債務	-	2,191
賞与引当金	-	80,000
その他	482,172	375,990
流動負債合計	2,661,791	2,544,774
固定負債		
長期借入金	699,548	832,554
資産除去債務	49,144	49,634
その他	458,105	431,338
固定負債合計	1,206,797	1,313,527
負債合計	3,868,589	3,858,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,996	461,996
資本剰余金	522,596	539,851
利益剰余金	400,026	625,374
自己株式	△30,218	△30,281
株主資本合計	1,354,400	1,596,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,869	4,111
為替換算調整勘定	△29,022	△19,247
その他の包括利益累計額合計	△24,152	△15,136
新株予約権	19,718	30,580
非支配株主持分	73,177	104,314
純資産合計	1,423,144	1,716,700
負債純資産合計	5,291,734	5,575,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,707,128	6,690,979
売上原価	6,041,148	5,588,628
売上総利益	665,980	1,102,350
販売費及び一般管理費	726,097	724,128
営業利益又は営業損失(△)	△60,117	378,221
営業外収益		
受取利息	298	3,796
受取配当金	292	354
為替差益	88,087	-
受取家賃	19,630	19,150
その他	6,399	11,956
営業外収益合計	114,708	35,257
営業外費用		
支払利息	5,962	9,127
為替差損	-	8,669
デリバティブ評価損	-	2,191
持分法による投資損失	420	1,196
賃貸費用	7,535	8,279
その他	2,939	7,735
営業外費用合計	16,859	37,199
経常利益	37,732	376,279
特別利益		
固定資産売却益	-	4,914
特別利益合計	-	4,914
特別損失		
固定資産除却損	13	-
固定資産売却損	1,989	-
特別損失合計	2,002	-
税金等調整前四半期純利益	35,729	381,193
法人税等	90,323	123,483
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,593	257,710
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,811	△3,430
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,781	261,140

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,593	257,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	577	△758
為替換算調整勘定	△13,982	9,774
その他の包括利益合計	△13,405	9,016
四半期包括利益	△67,999	266,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△56,187	270,156
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,811	△3,430

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	35,729	381,193
減価償却費	79,282	70,365
のれん償却額	2,890	213
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,904	5,966
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	80,000
受取利息及び受取配当金	△591	△4,150
支払利息	5,962	9,127
為替差損益 (△は益)	△103,081	6,493
持分法による投資損益 (△は益)	420	1,196
株式報酬費用	8,581	10,861
有形固定資産売却損益 (△は益)	1,989	△4,914
固定資産除却損	13	-
匿名組合損益分配額	-	△2,239
デリバティブ評価損益 (△は益)	-	2,191
売上債権の増減額 (△は増加)	△301,197	166,946
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,827	60,364
前渡金の増減額 (△は増加)	60,272	168,557
その他の資産の増減額 (△は増加)	60,724	44,467
仕入債務の増減額 (△は減少)	290,219	△314,222
未払金の増減額 (△は減少)	△3,248	△8,281
未払消費税等の増減額 (△は減少)	30,080	△4,053
前受金の増減額 (△は減少)	△154,065	△85,668
その他の負債の増減額 (△は減少)	△17,551	△10,047
小計	1,509	574,367
利息及び配当金の受取額	233	3,843
利息の支払額	△6,081	△9,123
法人税等の支払額	△137,077	△71,129
法人税等の還付額	22,375	47
営業活動によるキャッシュ・フロー	△119,041	498,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,306	△33,762
有形固定資産の売却による収入	7,222	9,603
無形固定資産の取得による支出	△114	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,044	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△18,674
貸付金の回収による収入	473	30,631
敷金及び保証金の差入による支出	△19,091	△6,720
敷金及び保証金の回収による収入	528	-
その他	876	599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,456	△18,321

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	796,944	145,679
長期借入れによる収入	21,802	330,000
長期借入金の返済による支出	△182,485	△165,251
株式の発行による収入	1,502	-
自己株式の取得による支出	△30,112	△62
非支配株主からの払込みによる収入	-	52,000
配当金の支払額	△70,376	△35,850
リース債務の返済による支出	△7,935	△5,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	529,339	320,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,149	△1,142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	365,990	799,272
現金及び現金同等物の期首残高	996,512	902,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,362,502	1,701,809

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング・コミュニケーション事業	SP・MD 事業	スポーツ 事業	bills 事業	開発 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	3,413,267	1,426,422	365,544	1,484,038	17,855	6,707,128	-	6,707,128
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,939	232,821	3,950	1,405	900	243,017	△243,017	-
計	3,417,207	1,659,244	369,494	1,485,444	18,755	6,950,146	△243,017	6,707,128
セグメント利益 又は損失(△)	391,503	△89,716	35,684	△88,513	△39,365	209,592	△269,709	△60,117

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	22,277
全社費用(注)	△291,987
合計	△269,709

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング・コミュニケーション事業	SP・MD 事業	スポーツ 事業	bills 事業	開発 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,967,424	1,669,024	423,376	1,552,869	78,283	6,690,979	-	6,690,979
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,597	205,285	3,945	1,225	16,394	231,448	△231,448	-
計	2,972,022	1,874,310	427,321	1,554,095	94,678	6,922,427	△231,448	6,690,979
セグメント利益 又は損失(△)	406,270	202,412	40,095	15,384	△3,311	660,852	△282,630	378,221

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	19,031
全社費用(注)	△301,661
合計	△282,630

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。